

自転車利用に関する現状分析

1. 地勢

- 本市の地形は、鉄道沿線では平坦な地形ですが、一方で市の南部・東部では高低差が大きい地形となっています。
- 本市の土地利用は、木更津駅～巖根駅沿線を中心に建物用地が多く南部・東部では森林が多くを占めています。

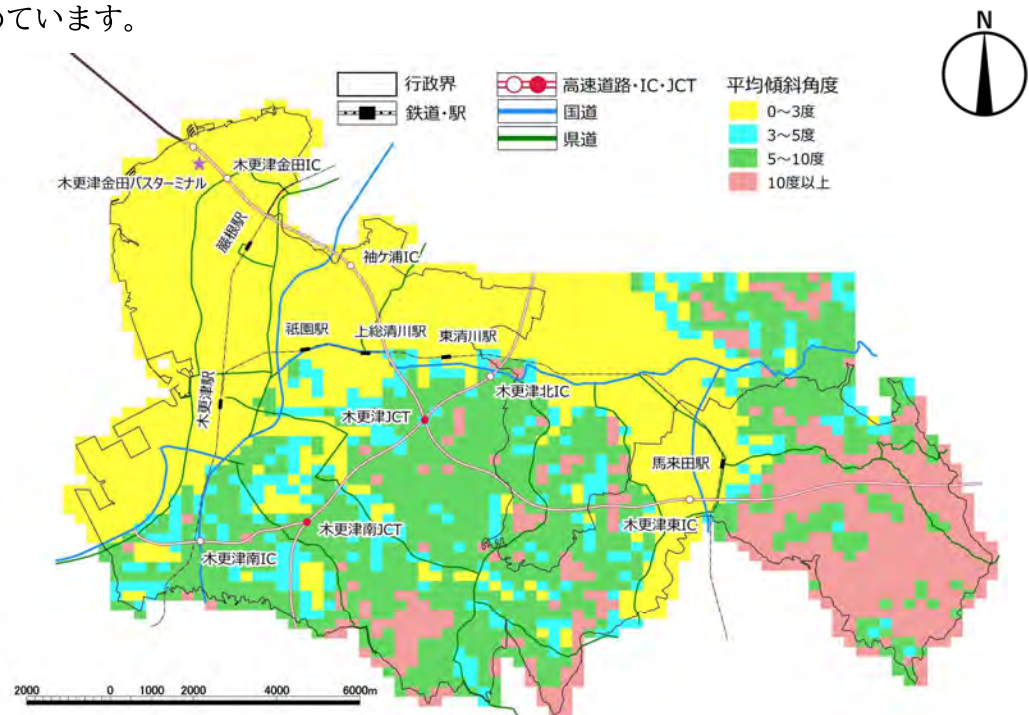


図1 傾斜5次メッシュ [資料：国土数値情報]

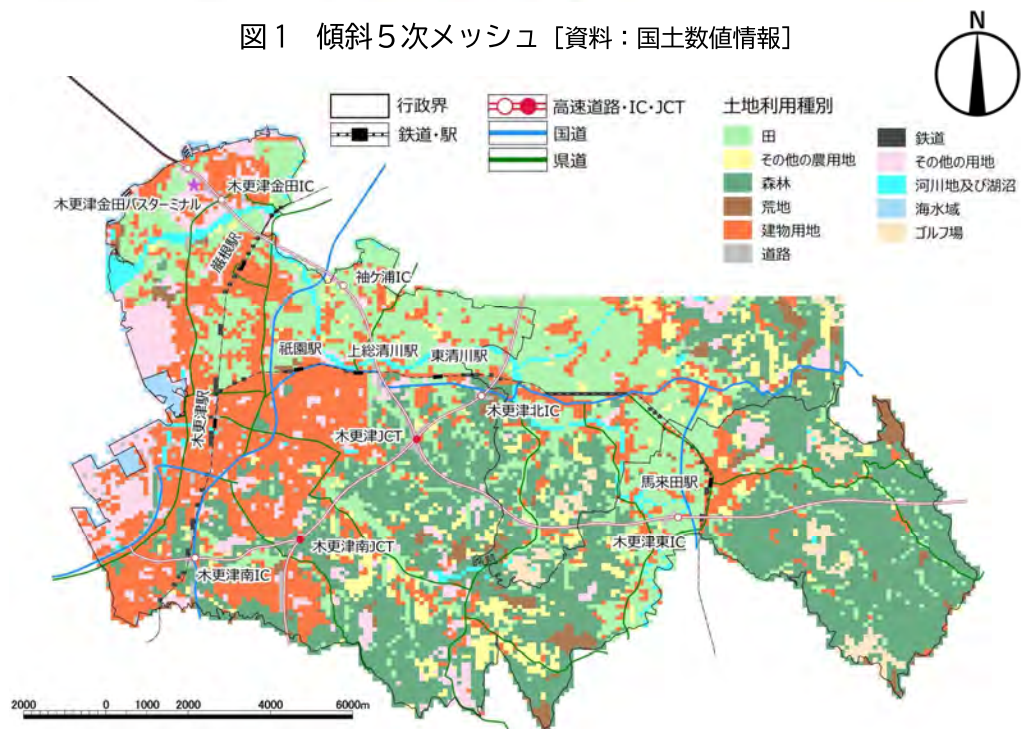


図2 令和3年度土地利用細分メッシュ [資料：国土数値情報]

2. 人口

(1) 人口推移

- 本市の令和2年の人口は約136,000人であり、平成17年以降増加傾向にありますが、国立社会保障・人口問題研究所（推計値）によると令和22年には減少すると予測されています。
- 高齢化率は増加傾向であり、一方で15歳未満の年少人口、15歳～64歳の生産年齢人口は、減少傾向にあります。

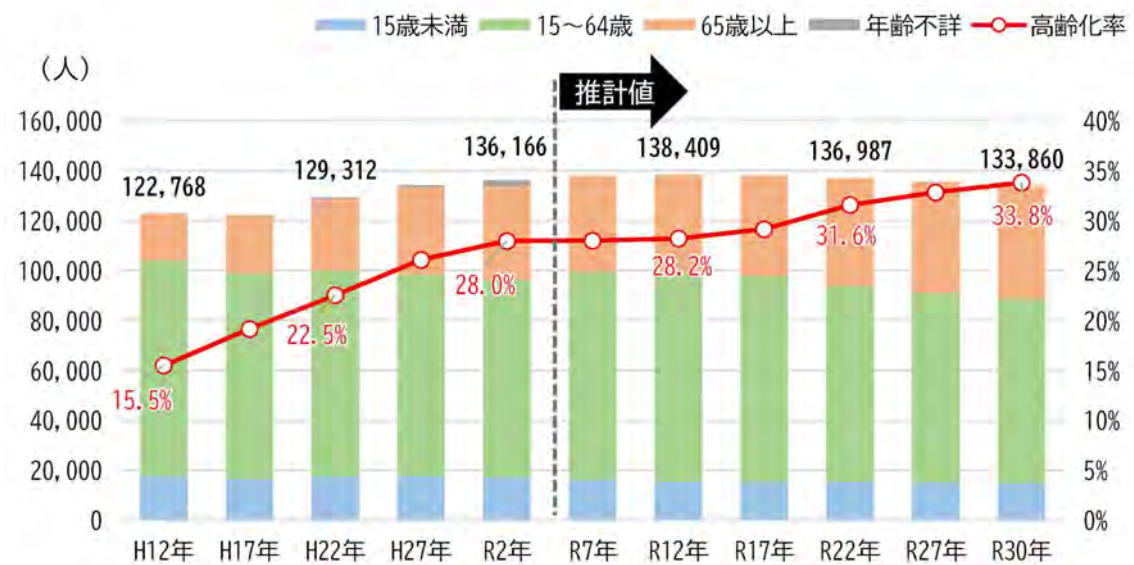


図3 年齢階層別人口と高齢化率の推移

[資料：実績値は国勢調査、推計値は国立社会保障・人口問題研究所]

(2) 人口分布

- ・ 木更津駅、祇園駅、上総清川駅、巖根駅の周辺に特に人口が集積しています。
- ・ 65 歳以上の人口は、東清川駅周辺や金田地区、富来田地区に集積しています。

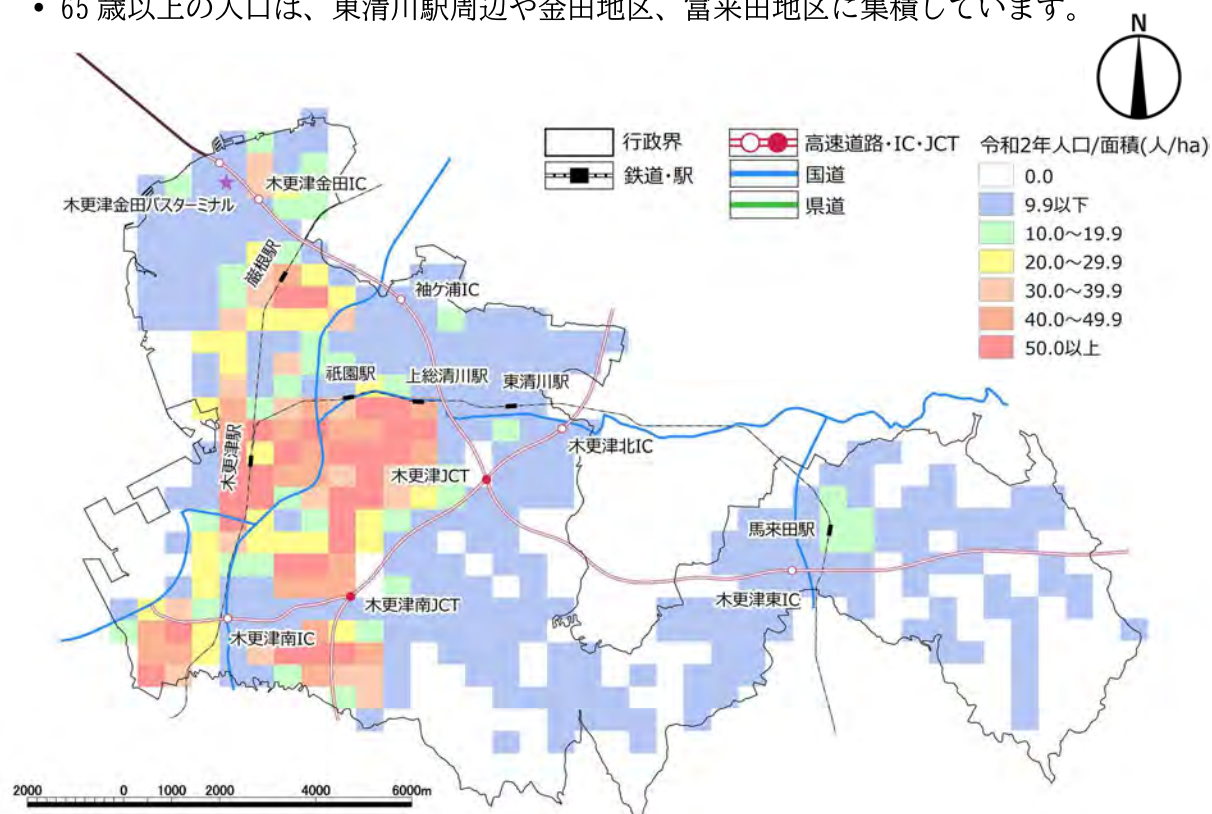


図4 総人口密度(500mメッシュ) [資料: 令和2年国勢調査]

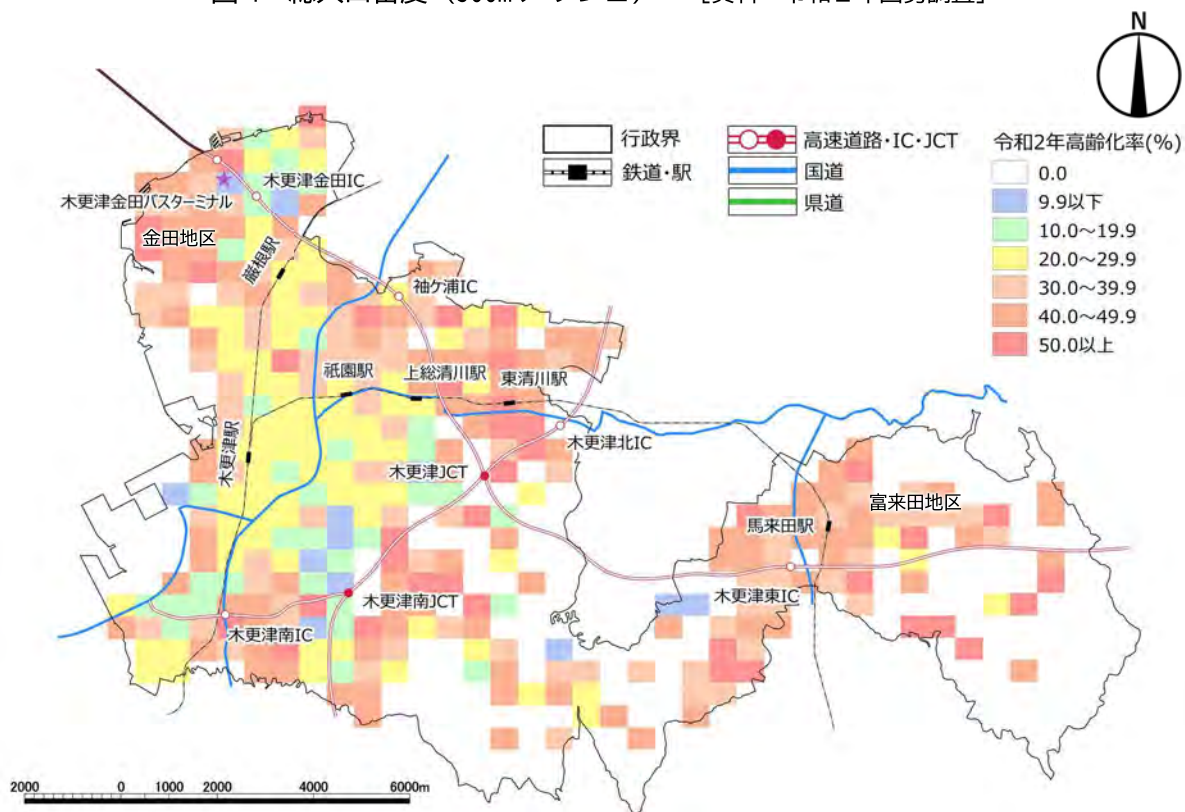


図5 高齢化率(500mメッシュ) [資料: 令和2年国勢調査]

3. 交通基盤

(1) 道路ネットワーク

- 本市の主要な道路網は、広域的な幹線道路であるアクアライン・圏央道及び館山自動車道を軸に、東西・南北に配置されています。

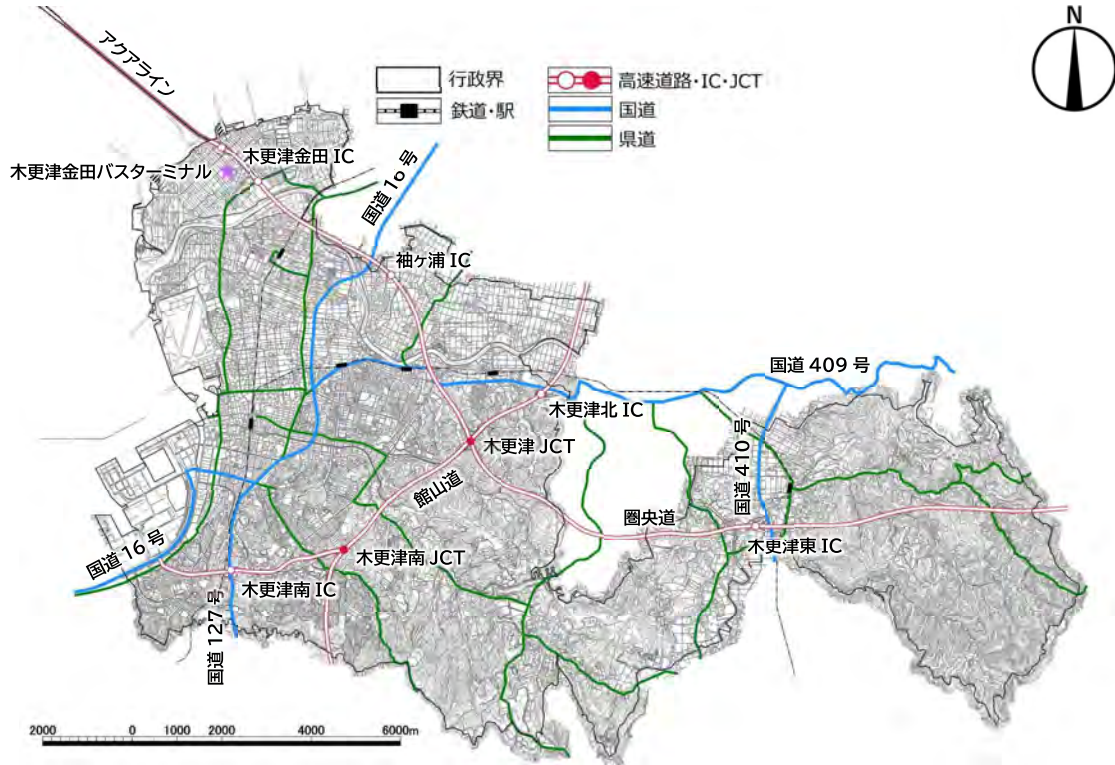


図6 主要道路ネットワーク図

(2) 公共交通ネットワーク

- 本市の公共交通は、鉄道2本、路線バス18系統のほか、富来田地区では自家用有償旅客運送を運行しています。

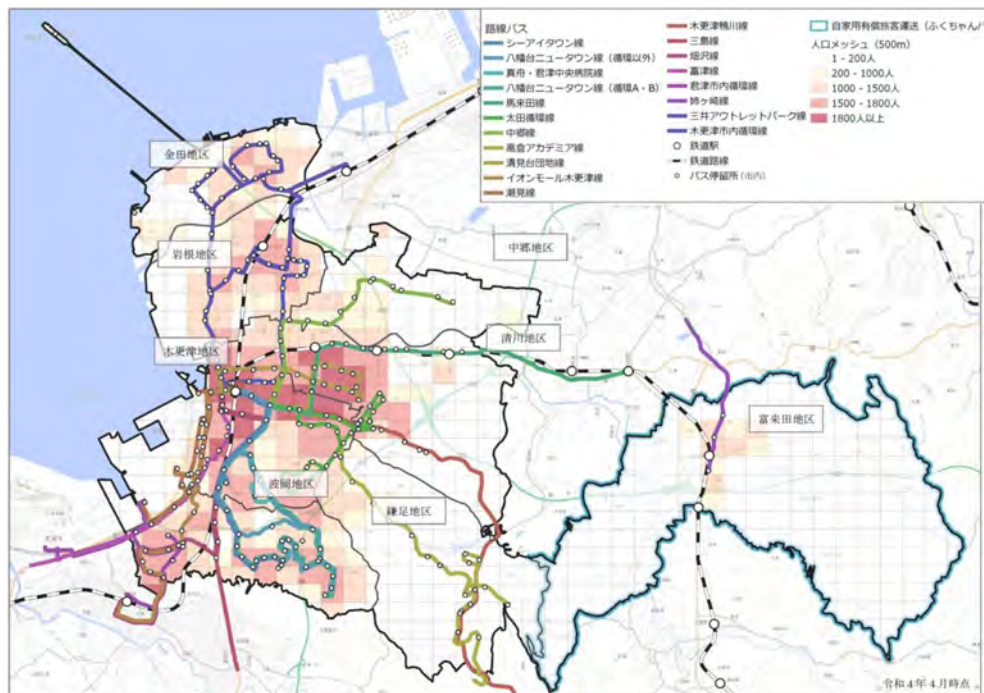


図7 人口分布と公共交通の運行状況 [出典：木更津市地域公共交通計画]

4. 交通特性

(1) 交通分担

- 本市の通勤通学時の交通手段として、自転車のみを使用している割合（代表交通分担率）と自転車と公共交通機関を組み合わせている割合（端末交通分担率）を合計した自転車の分担率の経年変化を見ると、平成 12 年から令和 2 年にかけて減少が続きます。令和 2 年には、県庁所在地の千葉市と比較すると、本市の分担率は約半数程度となっています。

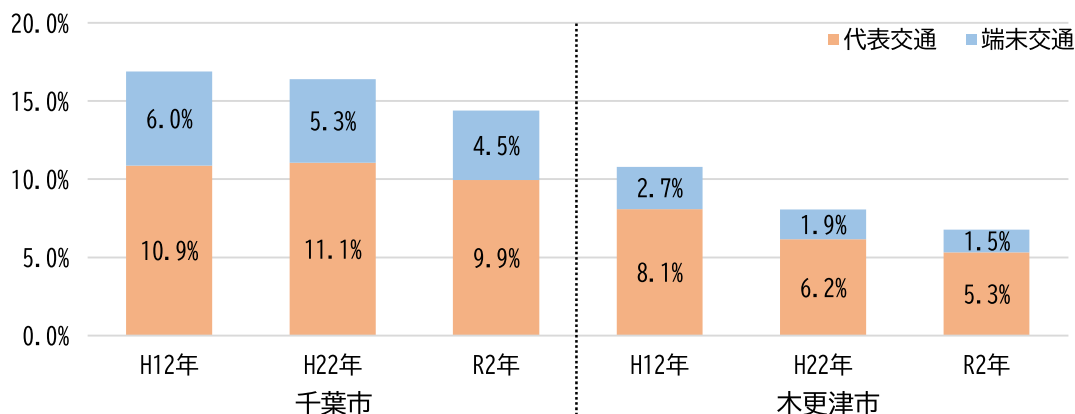


図8 自転車分担率の推移と比較 [資料：国勢調査]

※分担率とは：ある目的をもって出発地から目的地まで移動する際に利用する交通手段ごとの割合。

(2) 交通量

- 令和3年度 一般交通量調査は以下のとおりです。

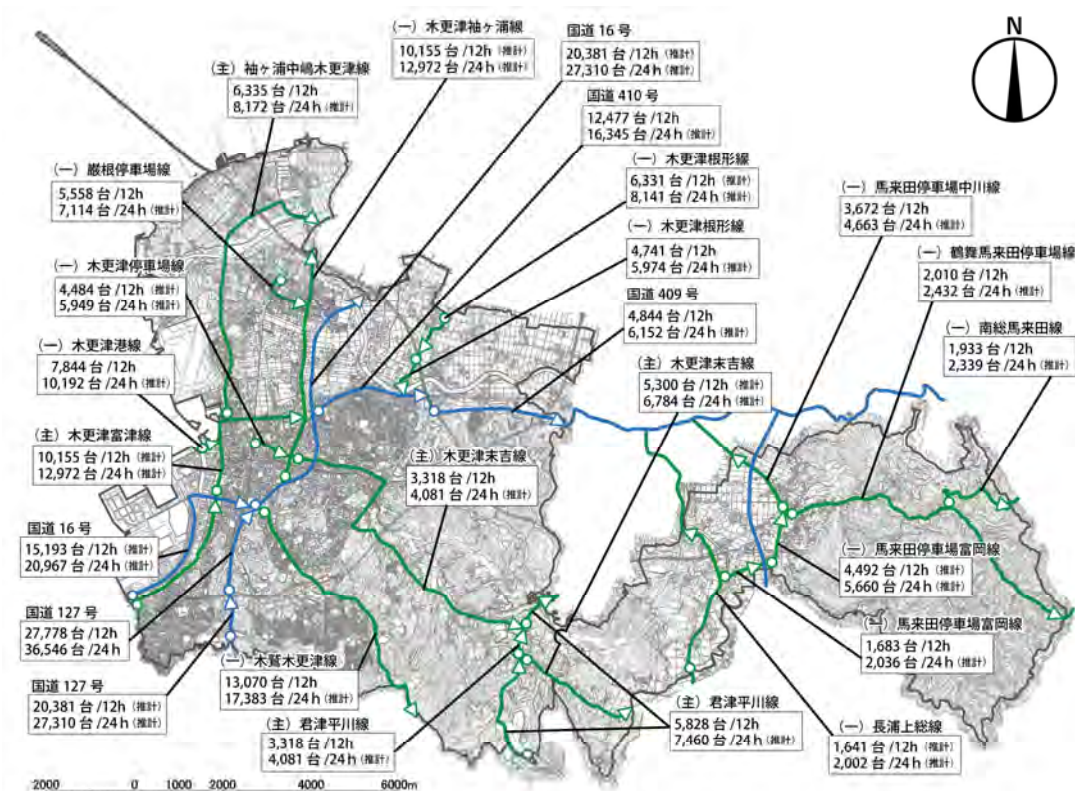


図9 国道・県道の交通量

[資料：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査（国土交通省）]

(3) 自転車関連事故の発生場所

- 自転車関連事故の発生場所は、木更津駅周辺や県道沿いに集中しています。

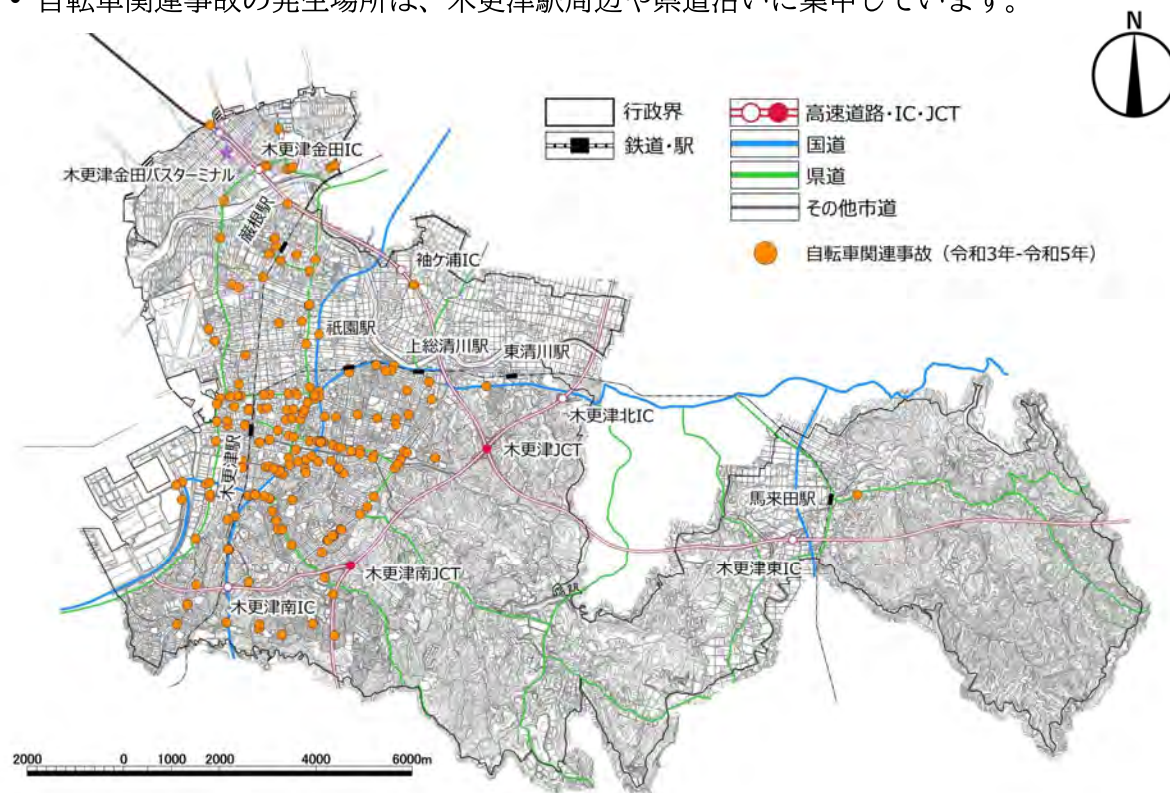


図 10 自転車関連事故発生場所（R3-R5） 計 195 件

[資料：交通事故統計情報のオープンデータ 木更津市内（警察庁）]

5. 都市機能

(1) 主要施設の立地状況

- 木更津駅を中心に、公共施設や商業施設が多く集積しています。
- 私立小学校を除いて、各小学校で通学路が指定されています。

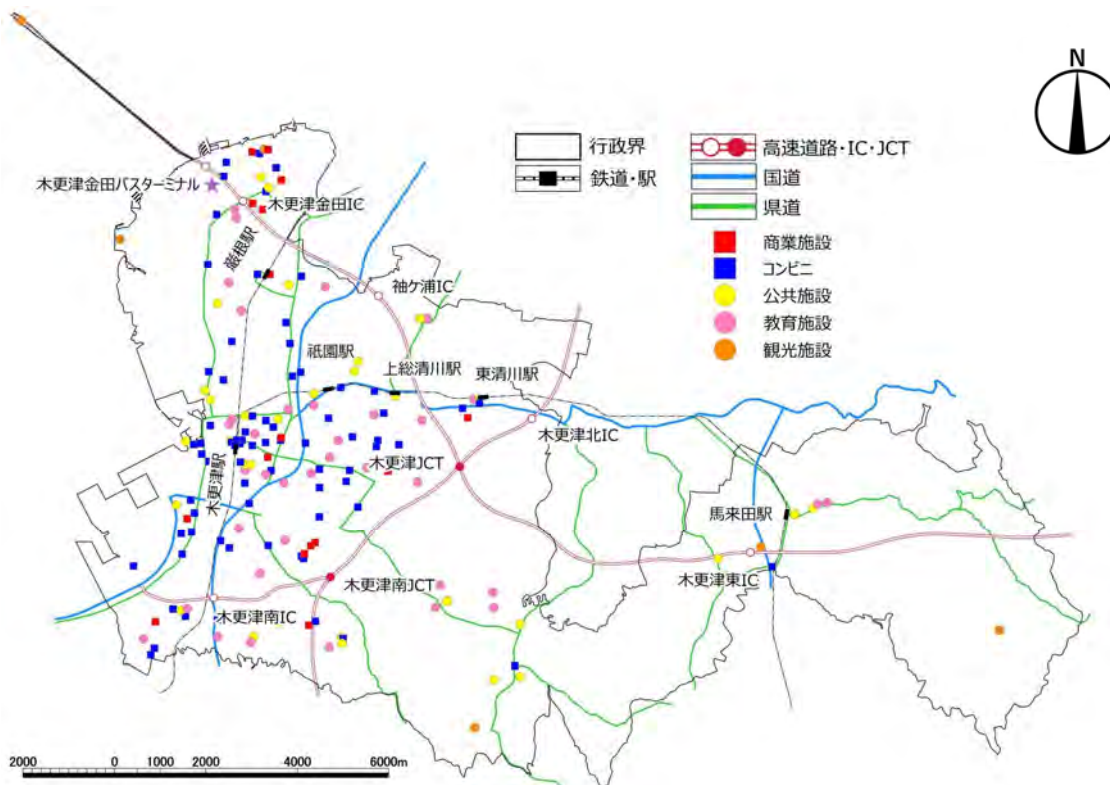


図 11 主要施設の立地状況

[資料：コンビニは NAVITIME、その他施設は木更津市地域公共交通計画]

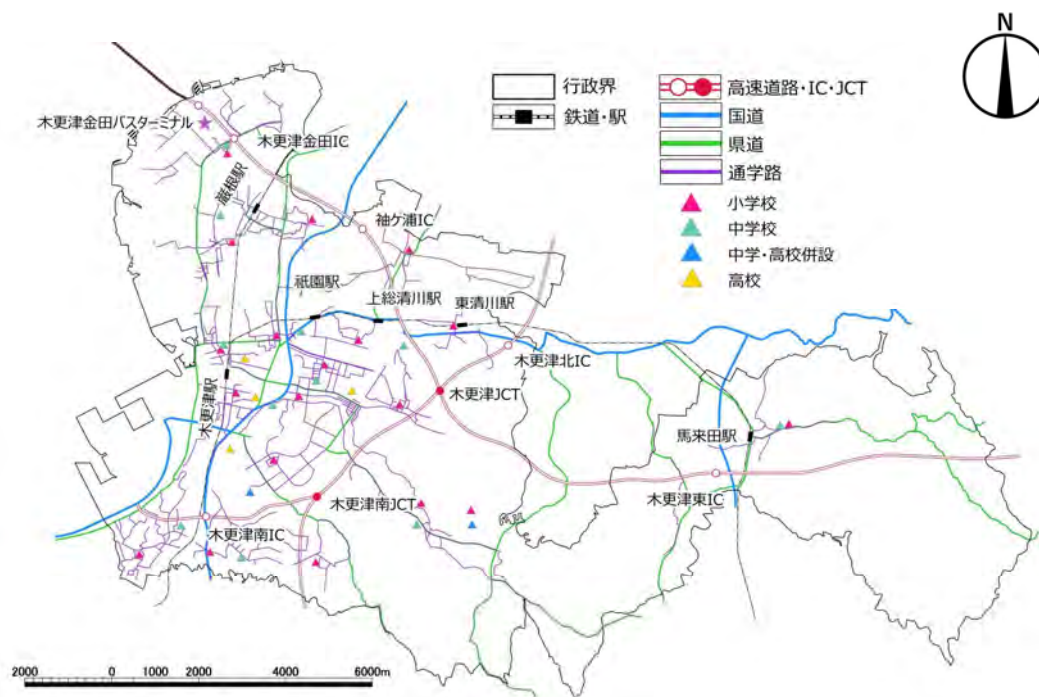


図 12 教育施設の立地状況・通学路指定状況 [資料：木更津市]

6. 本市の自転車利用の動向

(1) 市営自転車駐車場

- 市営自転車駐車場は木更津駅、巖根駅、東清川駅、馬來田駅に設置されており、木更津駅及び巖根駅は有料、東清川駅及び馬來田駅は無料となっています。
- 自転車駐車場の利用にあたっては、利便性が高い木更津駅東口第2自転車駐車場1階、木更津駅東口第3自転車駐車場1階、木更津駅東口第4自転車駐車場は、毎年抽選申込となります。抽選対象外の自転車駐車場は利用登録申請により利用が可能です。

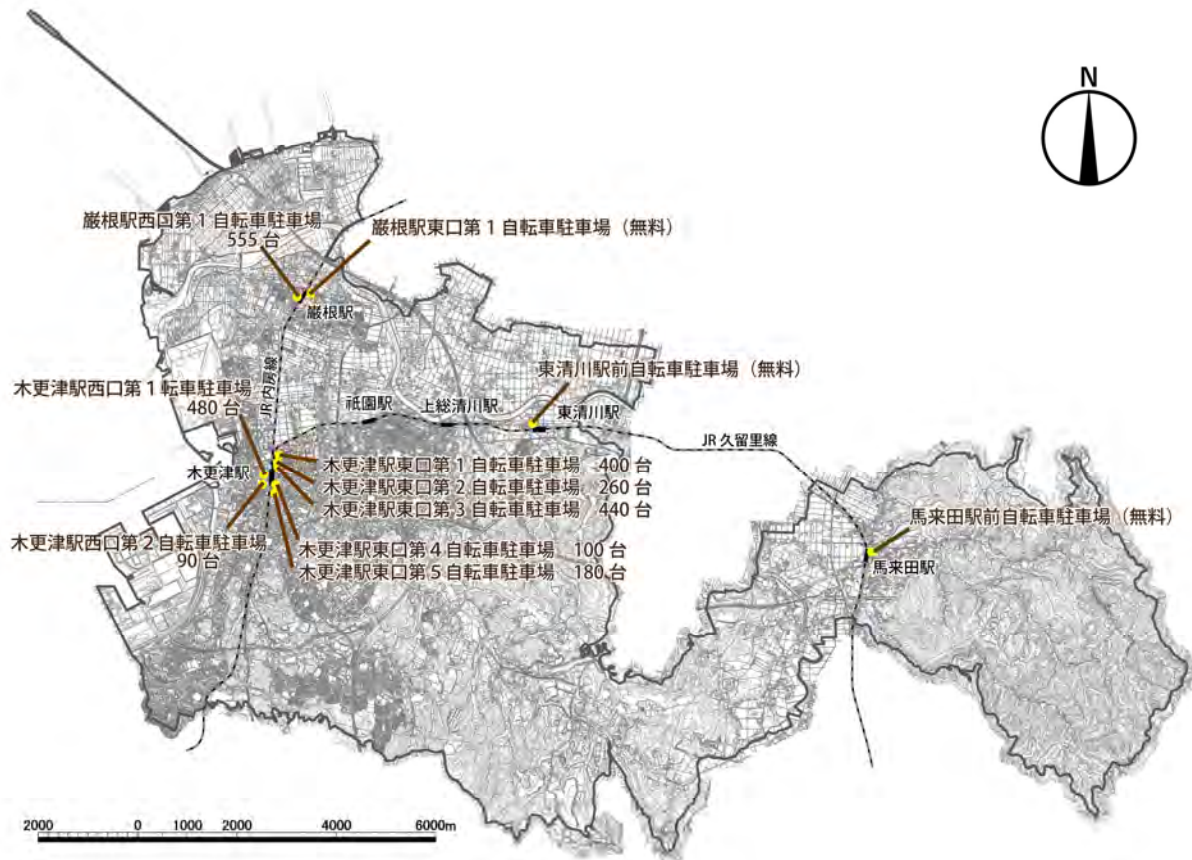


図 13 自転車駐車場の位置と駐車台数 [資料：木更津市]

(2) 放置自転車

- 本市内の放置自転車の撤去数は概ね 150 台前後で推移しています。

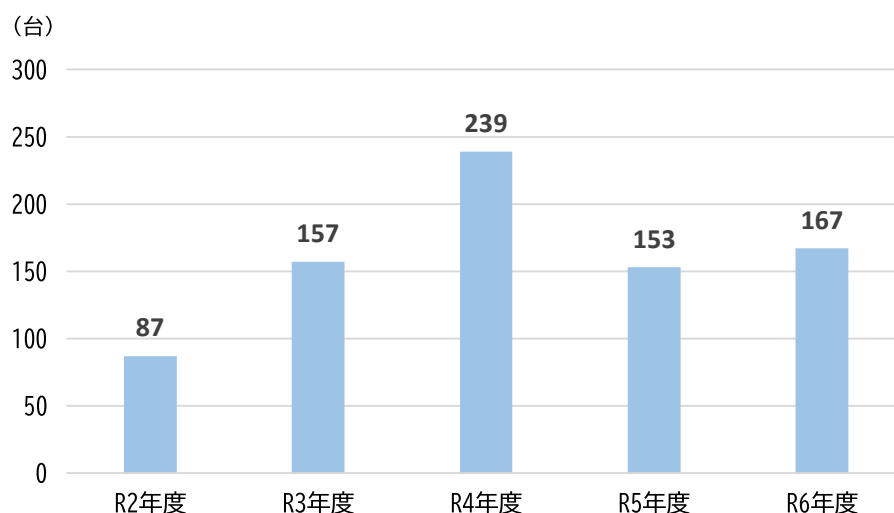
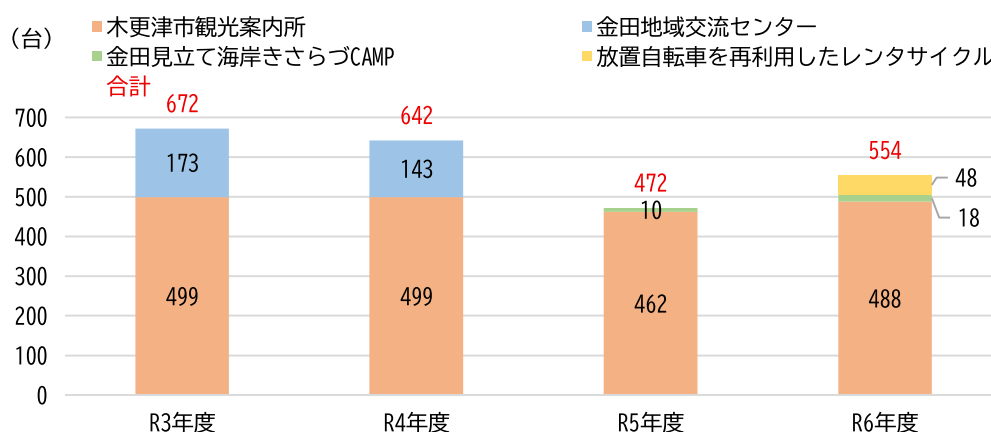


図 14 放置自転車回収台数の推移 [資料：木更津市]

(3) レンタサイクル

- 貸出車種は電動アシスト付きの e-bike、マウンテンバイク、クロスバイク、ミニペロ（小径車）です。
- 観光案内所でのレンタサイクルの貸出台数は概ね 490 台前後で推移しています。
- 放置自転車のうち所有者が引き取りに来ず、木更津市自転車等の放置防止に関する条例及び同条例施行規則に基づく保管期間を経過した物の中で、再利用可能な自転車をレンタサイクルとして貸出しています。令和 6 年度は 48 台の利用がありました。



※金田地域交流センターはR5.3末でレンタサイクル貸出終了

図 15 レンタサイクル貸出の推移 [資料：木更津市]

(4) ヘルメット購入補助

- 本市では令和6年度から、自転車乗車用ヘルメットの着用普及促進のため購入費の補助を行っています。
- 令和6年度の申請件数は283件で、334個の購入補助を行いました。令和7年度は6月末時点で申請件数が137件、158個の購入補助を行いました。

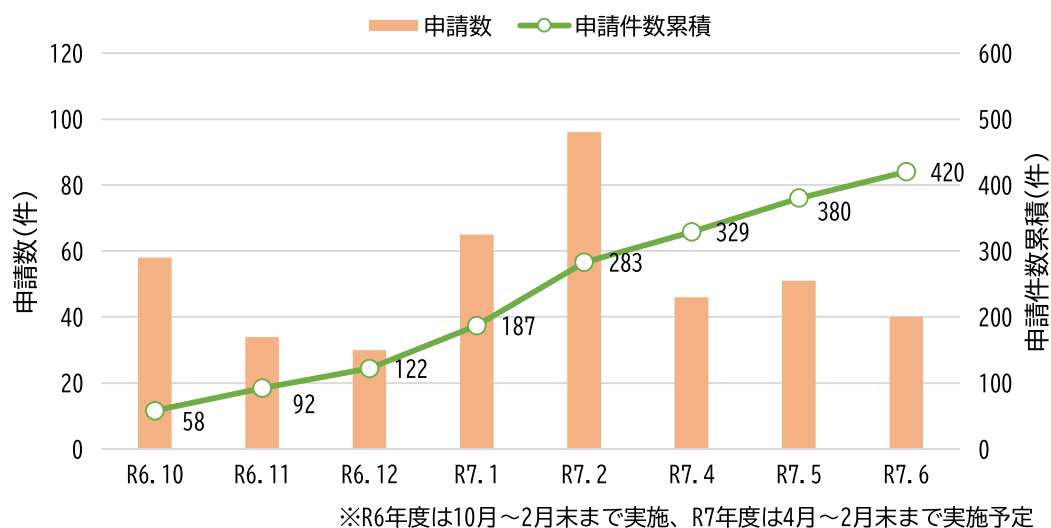


図16 ヘルメット購入補助金の申請件数の推移 [資料：木更津市]

(参考)木更津市自転車乗車用ヘルメット購入費補助金概要

- 申請期間：令和7年4月1日から令和8年2月27日
- 募集件数：先着2,040件
- 対象ヘルメット：申請期間までに購入されたもの、新品のもの、安全基準を満たしたマークがついているもの

SG マーク	JCF マーク	CE マーク	GS マーク	CPSC マーク
	 公認証紙見本  推奨証紙見本			
一般財団法人 製品安全協会の安全認証	公益財団法人 日本自転車競技連盟の安全認証	EU 加盟国の安全認証 自転車用ヘルメットの規格は『EN1078』	ドイツ製品安全法の安全認証	米国消費者製品安全委員会の安全認証 自転車用ヘルメットの規格は『CPSC1203』

- 補助金の額：ヘルメット1個の購入費（税込）の2分の1（100円未満切捨）
（上限2,000円）送料、装飾品の費用を除く

(5) サイクリングコース

- モデルコースとして、7つのコースが設定されています。また、木更津市及び南房総市を発着地としたサイクリングコースも設定されています。

川沿いカフェコース（距離：15.3km 最大標高：23m）



きさライドコース

（距離：40.0km 最大標高：168m）



アクアラインコース

（距離：20.0km 最大標高：10m）



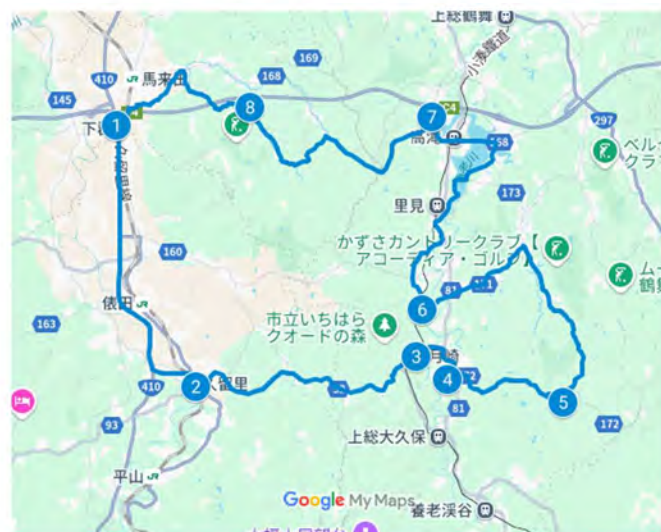
オーガニックシティきさらづコース（距離：59.2km 最大標高：126m）



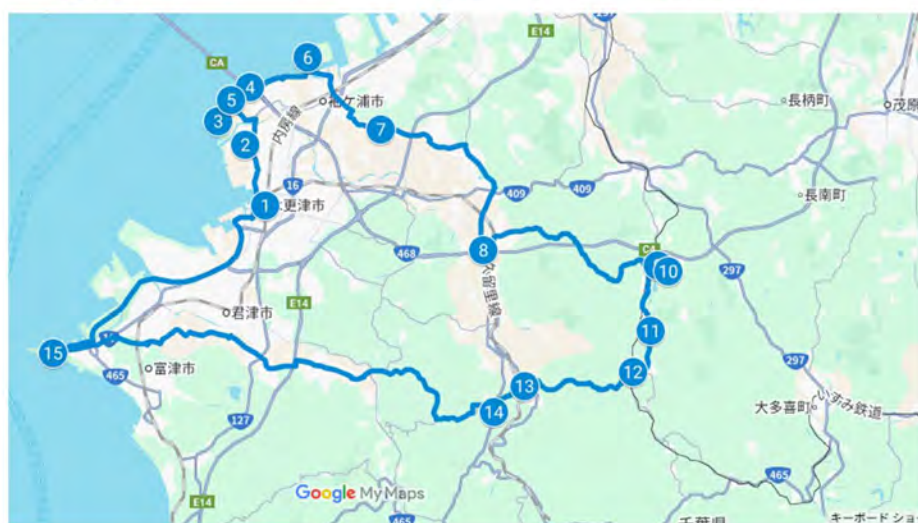
 木更津里山周遊ツアー（ショート）（距離：39.4 km 最大標高：122m）



 木更津里山周遊ツアー（ロング）（距離：49.9 km 最大標高：203m）



 房総クイントットコース（距離：105.9 km 最大標高：291m）



[サイクリングコース出典：木更津市観光協会]

房総半島サイクリング コースガイド

房総半島サイクリングハンドブックは、海山の自然情緒あふれる房総半島の南エリアを堪能できるサイクリングコースの紹介をしています。

日頃から、このエリアを走り尽くしたサイクリングチームが紹介するコースです。

実際のコースや高低差は、アプリで紹介しています。ぜひ、ごらんください。

①半チーバくん

②房総縦断 道の駅巡り

③房総縦断 グランfond

④万葉の里発着 素掘りトンネル巡り

⑤HEGURI HUB 発着 素掘りトンネル巡り

⑥神社巡りスタンプラリー



アプリ ride with gps
<https://ridewithgps.com/>
 まずはアプリをダウンロードしてください。「房総半島サイクリングガイドブック」のアカウントのルートにて上記コース①～⑥をご覧になれます。



[出典：木更津市ホームページ]